

週日の説教

金 大烈 神父 2011年6月9日(木)

《一つになるために - イエス様に向かって共に歩みましょう -》

今日読まれた福音(ヨハネ 17・20 - 26)は、個人的に私の好きな箇所です。イエス様の「**すべての人を一つにしてください。**」という箇所です。

なぜイエス様は、最後の特別な祈りとして、「私が愛するこの弟子たちを一つにしてください。」と祈られたのでしょうか。それは、イエス様と直接に会い、イエス様の全てを経験した人たちでも、やはり一つになるのが難しかったからでしょう。それを誰よりもよくご存知だったイエス様が、最後にご自分の力では出来なくて「父よ、私が選んだこの人たちが本当に一つの心になって生きられるようにしてください。」という懇切な祈りをされたのです。

さあ、2000年経った今の時代を考えてみましょう。私たちは『共同体』という表現を使います。『信仰家族』とか、『兄弟』と言うこともありますね。では、皆様はその『共同体』の一致を求めてどのくらい頑張っているのでしょうか。それを考えてみれば、私も含めて全員頭を下げるべきでしょう。一致するために一番大事なことは何でしょうか。イエス様でさえ、「私が選んだこの人たちに、私は全てを見せたけれど一つになれなかった。どうすればよいのか。」とおっしゃって、協力者を送りました。それは『聖霊』です。『聖霊』によって、みんな違う性格を持ちながらも、一つになることができ、殉教することもできたのです。

今日の福音を読んで思い浮かんだのは、『共同体』というものについてです。私たちは論理的に言えば『共同体』です。では、『共同体』の意味は何でしょうか。簡単に言えば、『運命』のようなものですよね。何かが原因となり、一緒に住まなければならない、一緒に過ごさなければならない運命のグループを『共同体』と言うのです。血のつながりによって結ばれた『家族』という共同体もあるし、理念や信仰、価値観によって結ばれた共同体もあります。そして、食べるため、お金をもうけるために仕方なく同じ空間で仕事をしなければならない共同体もあります。

- では、教会の共同体はどういうものでしょうか。他の共同体とは全然違うところがあります。それは、『使命共同体』だということです。普通の共同体は、一致するために相手の顔を見て、その人を理解し納得して初めて、「あなたと私は仲間としてやっていけます。」と言えます。しかし、この教会の共同体には様々な人がいます。『使命共同体』というのは、同じ方向、同じ目的によって一つになるものです。では、私たちにとっての「同じ方向」とは何でしょうか。それは、キリストです。イエス様です。信仰です。『使命共同体』とは、その同じ方向、イエス様に向かって、一緒に歩むことです。これを認めなければ、たぶん私たちが一つになるのは無理だと思えます。育ってきた環境も違うし、性格も違います。特にこの教会は多国籍です。いろいろな国の人々が集まって、同じ信仰を求めているのです。横のつながりで話をするのが好きな人も

いれば、縦のつながりで話をしようとする人もいます。横のつながりで考える人と、縦のつながりで考える人で、気が合うはずがありません。しかし私たちが『使命共同体』という言葉を意識して、「私たちの前にはキリストがいらっしゃるのだから、キリストが教えた道を共に歩もう。」とする心がしっかり出来れば、相手にゆずる時間、たまには赦す時間も与えられるのではないかと思います。

皆様、この太田教会の共同体では、絶対にお互いを非難しないように頑張りましょう。いつも私は申しあげているのですが、人を非難して指差した時、3本の指は自分自身の胸を差しているのです。そして1本は神様です。それを意識しながら、ご自分が分裂を起こす原因になったことがあるかどうか、反省するミサになっていただきたいと思います。

ありがとうございました。